平成16年６月11日（金）　於 名鉄グランドホテル

陵水会名古屋支部 総会と懇親会に 251名が参集!!

名古屋陵水

発行所
陵水会名古屋支部
名古屋市中区栄
４丁目21番11号
㈱サンワ内
ＴＥＬ052-241-0151
ＦＡＸ052-261-5715
発行責任者　吉田宜正
印刷所　中埜総合印刷
☎0569（21）2426㈹

当日は台風の影響で、あいにくの雨。最悪の天候にもかかわらず、多数の会員が会場に参集。総会に先立ち、幹事回生の大学十七回卒の簗瀬悠紀夫氏の開会の言葉に続き、陵水名古屋男性合唱団の大学学歌の斉唱。

名古屋支部長の吉田宜正氏の挨拶の後、司会より来賓紹介が

行われました。今回は滋賀大学から経済学部長　阿知羅隆雄氏と滋賀大学理事　吉野祐次郎氏が、又陵水会からは理事長の堀川馨氏をはじめ、東京、大阪、岐阜、三重、浜松の各支部の代表が、来賓として出席。

来賓代表して、阿知羅氏より挨拶があり、その中で、八十周年記念事では①募金で一億三〇〇〇万円②講演会とフォーラムに一三六〇人が参加③リスク研究センターが開設され、外国の大学と政府機関との共同研究も開始。又、大学の総合問題では4大学の統合が難しい状況にあるものの、滋賀医大との統合については、引き続き話し合いが行われているとの報告がありました。

名古屋支部長に　小島　興一氏が選任

総会は倉坪和久幹事長の進行により、①十五年度の会計報告と監査報告（P5）②支部新役員候補について（P2）の議案が審議されました。

①については、会計幹事の水野浩氏より説明報告の後、監事の大野眞一氏より決算報告が適正であった旨があり、拍手を持って承認されました。②については、倉坪幹事長により新役員候補が紹介され、全員が満場一致で原案通り承認されました。

新支部長の力強い挨拶の後、滋賀大学理事の吉野氏の紹介と挨拶があり、総会は終了。

趣向を凝らした懇親会

総会後は講演会を挟んで、懇親会が開催されました。赤いネクタイに身を固めた陵水名古屋男性合唱団の歌声に迎えられ、全員が懇親会場へ。

高商20回卒の若松信重氏の乾杯の音頭

堀川馨氏の祝辞に続き、高商二十回卒の若松信重氏の乾杯で歓談に入りました。今年は新入会員が四名、女性部会発足もあり、女性会員五名の出席がありました。そして、オーケストラ部の現役学生（男女十二名）が加わり、会場は華やいだ雰囲気に包まれ、親睦と再会の輪が拡がりました。席上、恒例の新入会員の紹介に合わせて、女性部会の紹介があり、その後は、お楽しみ抽選会。当選者の名前が呼ばれる度に、会場からは大きな歓声があがり、一気にトーンアップ！その会場の熱気が最高潮に達したのは、現役学生のオーケストラ演奏。高商校歌や寮歌をしなやかに奏でる美しい音響は、会場を酔わせ、会場ではその演奏に合わせて斉唱。グ～ン！と盛り上がった所で、残念ながらタイムアップ。高商二十回卒の林虔二氏による万歳三唱の締めでお開き。出席者からは、「今年は老いも若きも、そして男も女も楽しい懇親会だった」との声をいただき、幹事回生も達成感で大満足の一日でした。

女性会員も出席し華やかな宴

母校の変革の力に

新支部長　小島　興一氏

この度、陵水会の名古屋支部長に就任いたしました私は、第10回（昭和37年）の卒業生です。歴代の支部長である諸先輩は、いずれも大変立派な方々ばかりですので私には荷が重いとご辞退申し上げましたが、長年名古屋陵水会を支えていただいている吉田正克先輩と倉坪和久さんがそれぞれ副支部長と幹事長を引き受けていただけるということで大役を引き受けることにいたしました。微力ではありますが、皆さん宜しくお願い申し上げます。

少し自己紹介をいたしますと、今から20年前に名古屋市で公認会計士・税理士事務所を開業し、現在はスタッフ70名を抱える税理士法人中央総研の理事長と監査法人東海会計社の総括代表社員をしています。

挨拶する新支部長

趣味は？と聞かれると困りますが、中学・高校時代は油絵に熱中し瑞穂区民展などで特賞をとったり、大学時代は空手道部に在籍し剛柔流空手道3段となったりしました。しかし、現在は絵画や空手とは無縁の世界で仕事が趣味？の日々を過ごしています。もともと私は、『人生は一度。ベストを尽くして、楽しく生きよう！』をモットーにしていますので、本業以外に講演や執筆なども楽しみながら精力的にこなし、専門書ばかりですが20冊以上出版。昨年出版した『事業再生のための決算書の見方・読み方』は1万5千部売れベストセラーになりましたが、その著書の中で企業が再生するか否かは、『経営者と構成員が危機感を共有化して変わることができるかどうかである』と記しました。

たまたま、今年の4月に私達の母校滋賀大学は国立大学法人となり、これからは市場原理に晒され大きく変革することが求められています。

我が母校が少子化という逆風の中で生き残れるか否かも、企業と同様、学長以下大学の教職員が変われるか否かであると思います。私達陵水会は、母校の変革を暖かく見守るとともに、時には積極的に支援をしていくことが必要であると考えています。

このような重大な局面に力量不足の私が名古屋支部長に就任するわけですから、陵水会の会員の皆様、今まで以上に宜しくご支援ご協力のほどお願い申し上げ支部長就任の挨拶とさせていただきます。

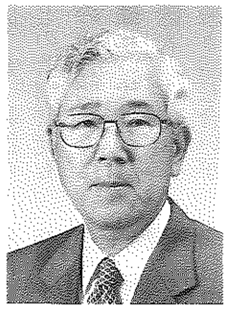
陵水会名古屋支部・新役員

平成16. 6. 11

役職名	氏名	卒業年次
顧　問	井澤　慶一	（本科21回）
〃	中山　修	（大学１回）
〃	岡田　一	（大学３回）
〃	吉田　宜正	（大学８回）
支部長	小島　興一	（大学10回）
副支部長	吉田　正克	（大学８回）
幹事長	倉坪　和久	（大学13回）
副幹事長	吉田　稔	（大学15回）
〃	村瀬　英己	（大学15回）
〃	岩田　政三	（大学17回）
〃	今井田昭三	（大学22回）
〃	久田　寿一	（大学30回）
会計幹事	水野　浩	（大学12回）
監　事	大野　眞一	（大学10回）

ごくろうさまでした

吉田　宜正　前支部長



この四年間、支部長を務めることができましたのも、皆様のご支援、ご協力の賜と厚くお礼申し上げます。特に、副支部長、幹事長はじめ役員の方々と、総会の運営をお願いした担当年度の幹事さんには心より感謝申し上げます。お陰で年を追うごとに、当支部の活動が活発になってきました。

この四年間特筆すべきは、なんといっても母校が創立80周年を迎えたことです。当支部は活動が活発だと評価されていますので、記念行事もそれなりの成果をあげなければならないというプレッシャーがありました。イベントへの参加、募金について皆様に訪問・電話・メールによりお願いしましたが、いずれの行事も当支部に相応しい結果を残すことができました。

母校の滋賀大学は、四月から学校法人となり、新しい課題が山積していますし、大学の統合も道半ばで進むべき方向が決まっていません。

研究・教育の場としての大学とはいえ、今後は競争原理がはたらき、選別される時代になると思われます。大都会にはないすばらしい環境を生かした、個性的な大学へ体質改善をすすめる必要があるのではないでしょうか。様々な点で、変わる時期・変わらなければならない時期に遭遇しているといえます。

当支部としては、支部活動を活発にし、大学のよきサポーターにならなければなりません。

このような時に、支部長を小島さんにバトンタッチしました。小島支部長には支部活動のより一層の活性化と、吉野理事のサポートをお願いし、母校と陵水会がともに発展することを祈念いたします。

ますます広がる 名古屋陵水会の力

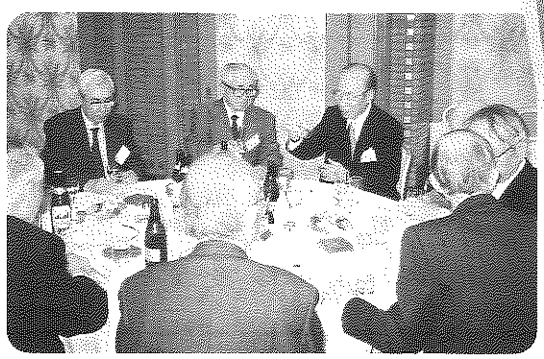
名古屋陵水会の輪

本部堀川新理事長はじめ支部代表も参加

明日を担う頼もしい若手会員も多数参加

豪華景品を手にして破顔一笑やりました

オーケストラの演奏をバックに寮歌斉唱


大先輩のテーブルで古き良き時代の彦根の思い出に花が咲く

現役学生の生演奏で会場はグッと華やかに

04年総会 251名の参加!!

大17回幹事さんご苦労さまでした。大18回幹事さんたのみます。

二〇〇四年
「陵水会名古屋支部総会」
実行幹事（大17回）

青山　政弘　㈱空見スチールサービス
浅沼　和彦　自動車保険料率算定会
阿多　博之　阿多税理士事務所
石井　卓
伊藤　信行　愛知県信用保証協会
川茂　進一　三菱電機エンジニアリング㈱
川口　暢之　野村証券㈱
柘植　和夫　名古屋文理短期大学
戸田　一巳　中信リース㈱
南　寿英二　名古屋銀行くらし相談センター
宮地　茂幸　㈱アドヴィックス
簗瀬悠紀夫　名古屋銀行
吉村　定俊　名古屋市役所
滋野　輝彦　愛知ナショナル電工㈱

幹事長
岩田　政三　岩田硝子㈱

ご協力された後輩たち
金沢　清美　名古屋鉄道（大43）
鈴木里映子　名古屋銀行（大46）
水野　俊之　アリコジャパン（大45）

二〇〇五年度　幹事担当
水野　義久（第18回幹事）

陵水会名古屋支部収支報告書

自　平成15年3月1日　至　平成16年2月29日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	1,910,661	平成15年度総会費用	2,201,420
平成15年度総会会費	1,950,000	「名古屋陵水」発行費	511,377
平成15年度支部会費	730,000	会議費	250,355
本部より補助金	165,600	事務費	47,250
雑収入	90,213	特別費	52,462
		雑　費	22,228
		次年度繰越金	1,761,382
	4,846,474		4,846,474

支部会費：2,000円×365名

本部会費：3,000円×365名
（代理集金）

平成15年度陵水会名古屋支部会費納入者一覧表

卒回	氏　名
本 7	吉田正巳
14	杉山一雄
15	土屋武夫
16	小島恵
18	太田寛
19	高橋永吉
20	若松信重、後藤貴雄、水野稔、浜本洋
21	荒島保、井澤慶一、杉浦弘
22	浅野恒彦、垣本武郎、前畑成温、大薮守康、大脇昭三、瀬尾且二、所鉦一
23	七家亘康、大橋芳夫、馬路芳郎、片山恭男
24	林哲郎
東 1	森田三郎
工 1	樽田昭治
2	山口孝夫
別 1	下郷三五郎
大 1	矢野浩一郎、岡島晃豊、中山修
2	加藤昌彦、河合万之助、伊神英文、堀田一幸、福田重光、伊藤良藏、山口修、鹿野磯夫、木村善雄、渡辺正和
3	吉田全宏、井筧英之、柴田英正、福本利雄、石黒雅俊、岡田一、水野敏郎、森谷馨
4	星川康次、河野洋久、石井正樹、伊藤康二、中嶋宗嗣、榊原惣一、近藤勇雄
5	亀井正幸、臼井靖二、中村錠司、森田収、安井昌二、浅井勢士、森照明、柴宗平、南野輝久、近藤実、清水有
6	加藤功、久保昭、岡田亨、岩田修司、伊興正道、沓名敏郎、山田寿男、豊田一利、石橋政雄、七里年昌、北井美雄
7	松田俊一、神谷慎太郎、河村実鏤、川瀬泰、清俊三、橋本英一郎、坂清司、松本利一
8	伊藤英夫、堀田隆幸、宮川益雄、鍋野可幸、脇田佳男、久野勝利、松下好弘、木村秀夫、吉田宣正、吉田正克、布藤久夫、寄田昌二、木村芳夫
9	杉田嘉瞪、清水吉男、大西敏隆、加藤伸、榊原寛、坂東史雄、西村泰徳、杉山繁城、清水一治
10	上原信彦、小島興一、鈴木清司、浅田為正、間瀬俊彦、鷲見公嗣、堀田隆久、大野眞一、山本勉、桑原誠、佐野康治、水野健治、深井精興
11	小林雍正、浅野如糧（幹郎）、稲葉（太田）紀勝、山村大二郎、鶴森昭雄、赤坂郁昌、内藤嘉美、纐纈裕達、木元眞一、米山宏治、一柳善郎、村瀬安彦、加藤宣彦
12	山田義博、藤村勝利、山田正治、国立徹、高野悟、木村哲也、伊藤靖久、坂井昌治、牧野圭壮、水野浩、田中慶一郎、鬼頭時夫、吉田忠
13	後藤一而、大橋輝彦、兵藤雅徳、佐橋孝、加藤嘉隆、嶋津導彦、中村修一、倉坪和久、山田建造、角井正澄、丹下義友、吉野祐次郎、川村憲一、尾形榮一
14	松木浩、石倉雅夫、奥谷弘和、藤原寛治、山中正行、望月弘隆、石原秀夫、市川弘幸、岡村明光、梶田富久、青山一道、早川匡彦、牧野安宏
15	室殿智秀、石田正彦、森野行雄、森下昭造、長坂重信、清水宏、杉山皓造、杉本佳彦、村瀬英己、吉田稔
16	蜂須賀聡太、山本正光、小川一也、加藤（板倉）和男、林一雄、深谷徹、木村征司、佐藤邦男、堀場文夫、辻本勲、桑山邦彦、藤原成幸、今井英範、杉崎進、竹島毅、中村烈也、結城碁、井川伸造、伊藤義信、佐々木信夫、小谷吉樹、加藤豊、鬼頭武義、水野京門、大西邦夫

卒回	氏　名
17	阿多博之、中山武憲、滋野輝彦、伊藤信行、青山政弘、岩田政三、簗瀬悠紀夫、柘植和夫、川口暢之、淺沼和彦、岡田和隆、石井卓、戸田一己、宮地茂幸、吉村定俊
18	渡辺洋一、加藤久典、伊藤晃、西尾達彦、川上良彦
19	鈴木修、松林茂晴、外山哲男、山口郁夫、沓名隆夫、岡田敏光、青木隆助
20	藤田敏郎、冨田敏夫、纐纈英治、江口正美、多田憲一、板谷憲治、山口隆、伊藤恵治、鹿住誠
21	山内薫、上中健人、岩田寿雄、外山成久
22	松下和久、志知明善、大脇正照、馬場良樹、今井田昭三、大島博、脇田秀昭、塩瀬和美
23	富田修、高山穣、三輪直樹、若松辰弘、太田孝夫、竹内伸治、大山能孝、山内佳紀、八木孝
24	吉田誠、牛田好紀、大海光男、浅野寛治、野瀬廣司、大本哲男、近藤（神谷）一業
25	鈴木幸一、榎本尚哉、野々山徳雄、尾坂弘吉、片岡嘉幸、遠藤（福島）稔
27	爪橋健、一柳良直、加藤英隆
28	加藤孝、清水二郎、長谷芳郎、加藤貴典、久野直人、鈴木明彦、牧野博和、森房江
29	兼松賢、三谷昌明、和田一朗、野々村昌治、知野広朔
30	小木曽郁也、本藤修一、伊藤請治、今井勝也、村田和弘
31	木山剛志、苅谷健、高橋孝治、橋本衛
32	市川公生、河辺昭宏
33	森本智文、鬼頭健吾
34	河合伸幸、田中実、丹下英幸
35	堀尾熱生、三村祥章、北村裕幸、志賀康仁、岩本雅文
36	三沢幸一、吉村公成、永井尚徳、小島之尚、松林寛久、市川和彦
37	奥休場孝治、日比野厚、栗田政彰、村上忠弘
38	藤野勝弘、柴田尊利
39	浅井俊博、木村雅昭、角野悦史
40	稲垣明知、小倉健二、樹下英紀、堀江慎一
41	畑瀬英樹、吉長太郎
42	野島奈緒子、長瀬昌彦、安藤弘喜
43	安井正人、林利典、金沢清美、小林靖
44	高橋和孝、松下昌平
46	鈴木豪一
47	河野充真
49	井上知重、山口浩典、鯛雅史
50	江崎活弘
51	奥村卓也、小川徹也、石川直樹、渡辺有悟、福本征次郎、林知佐
短 2	斎藤武司
4	寺倉幸夫
7	長谷川信三、大橋重和
院20	村橋敏博

《会費納入のお願い》

陵水会の活動はすべて皆様の会費で運営しています。会費納入にご協力ください。

特別講演会

元気で長生きP・P・K（ピン・ピン・コロリ）

日本笑い学会副会長　昇　幹夫氏

講師の昇幹夫さんの軽妙な語り口

総会後は昇幹夫氏による「元気で長生きP・P・Kのコツ!」と題して講演会。P・P・Kは「ピン・ピン・コロリ!」の略で、前向きで極楽トンボのような楽しい生き方で、健康で長生き。そして、最後にはコロリ!といきましょう。

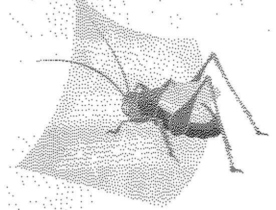
そう説く昇氏は医師で日本笑い学会副会長。人生で大切なのは非まじめと笑いで、あせらず、気張らず、笑顔のスローライフで健康に生きることだそうです。

人の体内では一日で約数千個の異常な細胞が誕生しており、これを処理しているのが免疫担当の仲間でNK細胞（ナチュラル・キラー細胞）というリンパ球。名前の通り、天然の殺し屋で、私達の体の主治医。笑ったり、楽しんだりすると、NK細胞の活性度が上昇するそうです。「楽しいことに夢中になる。前向きでプラス思考で生きる。心の底から大笑いする」。笑いは免疫力を高め、健康の秘訣との事。講師の軽妙でユーモアに満ちた口調で、会場は笑顔、笑顔と笑いの渦。

笑いは健康をつくる、講師の話に皆大笑い

スライドを使い医学的見地から、分かりやすい言葉で、笑いの効用を説明。がん患者が「笑いや楽観的思考」で寿命を伸ばしたり、がんから生還した実例を示し、「自分で治す」ことのできる人間の力の尊さを痛感したひとときでした。

この後、財団法人二〇〇五年日本国際博覧協会の事業運営本部長宮島寿男氏より愛知万博の説明があり、スライドにより、万博会場や展示内容の紹介がありました。博覧会の目玉である「世界初のマンモスの展示」計画を含め、万博の準備体制は順調に進んでおり、ここに来て、万博の盛り上がりも高まっているとのことでした。



女性部会発足!!

以前から、多くの女性参加を希望する声はありましたが、なかなか実績につながりません。何がネックになっているのかな?と考えてみました。

やはり大多数を占める男性参加者の中、参加しづらいという事。結婚後は、夜の会合に参加しづらいという事。男性と思うと、卒業後はなかなか同窓生で交流を持つということもないため、疎遠になっている人がほとんどではないでしょうか。

そこで、少しでも、同窓生として、陵水会の仲間として交流が深まれば…ということで、「名古屋陵水会女性部会」を発足することになりました。まずは、交流の場を設けることから始めよう!ということで、5月9日、大安吉日（?）に名古屋ヒルトンホテルにて、名古屋陵水会女性部会発足式としてティーパーティーを開催しました。

6月11日の総会には4名とも参加し、小田切教授も参加頂き、女性部会発足の宣言をして頂きましたが、少しずつ輪を広げていき、色々な活動が出来るように進めていきたい。

既婚者にとっては、なかなか外出することは難しいものです。最初は、ランチ会やティーパーティーといった日中の行事、子供連れでも参加できる行事等で交流を図っていきます。皆様のご協力を頂いて頑張っていきたいと思います。

女性の皆さん、ご参加待っています。

発足時参加者…小田切純子（大41回卒）・吉田幸代（大23回卒）・鈴木理映子（大46回卒）・加藤まゆみ（大46回卒）・金澤清美（大43回卒）

陵水俳壇

自句自解

風死すや島の重なる壇の浦　石橋政雄（大6）

会社のOB会が高松で行なわれ、女房同伴で出掛けた。久し振りの屋島は大変暑苦しい日でしたが瀬戸内の景色は素晴らしく、しばし暑さを忘れていました。

茶畑をSLの行く梅雨晴間

六月卓球部OB会が寸又峡温泉で開かれ十八名参加。大井川鉄道の榊原昌夫社長（大12）の手配で旅を満喫。人里離れた秘湯は静かで鄙びてをり紅葉の季節に再度訪れたいと思っています。

柔らかき越の風うけ蓮如輿　伊與正道（大6）

合はす手を田水で濯ぎ蓮如輿

毎年四月二十三日から十日間福井県金津町の吉崎御坊で蓮如忌を開く。その為に京都の本山から上人の真影を輿に乗せて湖西湖北を経て福井まで徒歩で運ぶのが蓮如輿。春風の中輿はゆっくり進み、信心厚き老若は田仕事の手を休めて拝む。

葭切も泣けよ宝暦治水の碑　河村實鑲（大7）

木曽三川の千本松原に薩摩藩士の宝暦治水工事の碑がある。會てない難事業に追い詰められ自害した者五十一名、病死した者三十二名という碑文が涙を誘ふ。碑が建つ葦原では、二百五十年前の悲話を知らないヨシキリが「ギョギョシ、ギョギョシ」と大きな声で鳴き立てる。

睡蓮の水面に光る木々の碧

浜名湖花博でモネの庭園を再現した睡蓮の池を観た。蓮浮葉と水面の配置が絶妙で、水面に映る周りの木々のあおみどり色の光と影は、印象派の名画を思い出させる。

穏やかに逝く人送る杜鵑花かな　木村芳夫（大8）

故人は穏やかな人柄で死に様もまた穏やかであった。葬儀の日故人が丹精していたさつきが、折しも満開で静かに見送って居る様であった。

朝市の笑顔の波や梅雨晴間

前夜まで降り続いた雨が上り、飛騨高山の朝市は笑顔の人々であふれかえっている。朝日に光る宮川の清流のように笑顔の波も途切れる事がない。

初遍路鳥が誘ふ竹生島　倉坪和久（大13）

先輩に誘われて今年一月句会から参加させてもらった初作の一句。たまたま西国巡り中で、長浜港からの船中にて。

春の夜の湯屋に寄せ来る知多の波

山育ちの自分にとって、知多の海は昔からお気に入りのドライブコース。最近は温泉も発掘されてますます癒しの地に。

卓上の鷺草招く朝の風　斉藤武司（短2）

海抜一二〇〇米の開田高原での句です。暑い名古屋を逃れて来た甲斐がありました。

黒ドレス鏡に映る巴里祭

パリに住む友人より便りあり、その文面からこんな句をつくりました。

児の手形扉に残る梅雨じめり　柴　宗平（大5）

梅雨どきには扉の汚れも湿気によって殊更目立つものだろうか。小さな掌の跡がぼんやりと浮上っていた。似た年頃の孫が三人いるので手形の主は特定できない。親の海外転勤のため孫には仲々会えないのでガラス戸の隅に手形を残し、再会した時に手形の大きさを比較したいという手記を読んだ記憶がある。

秋立つや北山杉にちぎれ雲

きれいに枝打ちされた北山杉の林はまことに清々しいものである。人工的な美ではあるが樹間を透かしてちぎれ雲の白さが印象に残った。やがて来る爽秋に想いを馳せれば美酒佳肴の宵が待たれる。

新緑に映える穂高や河童橋　南野輝久（大5）

五月十四日、上高地を女房共々散策してきました。

遥けくも初夏中欧の古都めぐり

六月二日から十一日迄十日間女房と共に中央五ヶ国（ドイツ、チェコ、スロバキア、オーストリア、ハンガリー）の古城と教会の古都めぐりをしてきました。

大瀑布轟音眼下に妻と立つ　山田寿男（大6）

本年五月中旬夫婦揃って始めて海外旅行にカナダへ行った時に吟じたものです。特に爆音轟き水煙立ちこめるナイアガラの滝は迫力満点の大パノラマでした。

ゼミの友葭切さわぐ川めぐり

六月中旬近江八幡で第二十回白杉ゼミの会があり「水郷めぐり」を楽しみました。三十六名。にぎやかな葭切の声のする水路を手漕舟にゆられて実にのんびりした八十分でした。

一層の躍進にご期待！

陵水会名古屋男声合唱団

母校創立八十周年記念式典で演奏

私たちが演奏している下掲の写真の会場、どこだかお分かりですか。そうです。卒業式をした彦根のあの講堂（文化庁・有形文化財に登録）です。大学や陵水会本部からの要望に応え、私たちが急遽立ち上げた『陵水男声合唱団』に、彦根、東京、大阪の同窓が勇んで参加して下さり、総勢三十一名が、後輩の経済学部オーケストラ部（いつごろ結成されたのでしょう?因みにグリークラブは消滅）と共演し、母校創立八十周年記念式典で、「彦根高商校歌」と「滋賀大学学歌」を歌い上げました。

団員総会開催で飛躍を期す

浅井勢士（大2）さんを中心に結成されて三年。名古屋支部のみなさんのご理解と支援を得て、支部総会での演奏、岐阜・三重支部総会での招待親睦演奏が定例化し、昨年は、彦根（母校）で歌うことができました。

この一年間で、小西利雄（大1）・富永新一（大7）・火口浩一郎（大9）・中川昌保（大10）・加藤友明（大11）・高山芳明（大20）・西井克己（大37）の各氏七名の同窓を新たに団員に迎え、本年度の名古屋支部総会には、十九名が舞台に上がりました。

赤ネクタイを身につけ美しいハーモニーで出迎える陵水会名古屋合唱団

七月の団員総会では、新たな発表会（コンサート）の企画について意思統一し、それを目指した練習計画（曲目や方法）、外部からのプロの指導者・ピアノ伴奏者の招聘問題、団員増員策について知恵を出し合い、新たな飛躍のための活動方針を決めます。

創立80年　母校にて

皆様の合唱団参加を待っています

『量的な変化は質的な変化をもたらす』と学びました。名古屋支部の皆様が、我が合唱団に参加してくださることが、飛躍のための絶対条件です。また、先の支部総会・講演で『歌うことは、健康の条件』とも学びました。ぜひ、入団のご意思を団長か、お知り合いの団員にお示し下さい。お待ちしています。

〔団長〕西村泰徳（大9）
☎059-232-2923
〔事務局〕山本　勉（大10）
☎052-736-5889

名古屋陵水会 囲碁会発足 会員募集中!!

名古屋陵水会囲碁会が去る四月十日、日本棋院中部総本部において発足致しました。既に、東京陵水会、大阪陵水会には囲碁会があり、交流会も盛んに行なわれていたこともあり、名古屋も是非つくって欲しいと催促されていたところ、やっと発足できた次第です。

そして、早速、去る五月十二日～十三日には、ビラ・マリーン南知多にて、東名阪囲碁交流会を盛大に行なうことができ、懇親を深めることができました。今後も、年一回ぐらいは交流会を行ないたいと語り合った次第です。

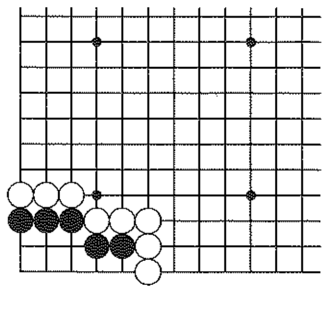
また、名古屋陵水会囲碁会では、老若男女、段級位を問わず、囲碁に関心ある方々のご参加をお待ちしていますので、気楽にお出かけ下さい。

次回定例会は九月十一日（土）午後一時より、中経ビル天海囲碁クラブにて開催致しますので、是非、ご参加下さい。

連絡先は左記までお願い致します。

篠田　豊（大11）
☎052-481-6003
浅野如糧（大11）
☎0567-28-3291
☎090-7686-9001
天海囲碁クラブ
☎052-565-8761

《詰め碁》



〈黒番〉普通の手が決め手のようです。（答えはP8）

名古屋陵水会ゴルフコンペ

「第五〇回　記念大会」のご案内

毎年、春と秋に開催して来た名古屋陵水会のゴルフコンペも、早いもので次回で五〇回となります。

記念大会として、大いに盛り上げたいと思っております。初参加の方も大歓迎、ダブルペリア方式で、どなたでも優勝のチャンスあり。同期の人を誘いあって申し込んで下さい。尚、賞品を提供される方が居られましたら、喜んでご連絡をお待ちしております。

記

日　時／10月14日　木曜日
場　所／東名古屋カントリークラブ
その他／尚、問い合わせ申し込みは、幹事まで

第50回幹事
木村芳夫（大8）
☎0594－42－2657
酒井盛雄（大13）
☎052－932－3857

「第四九回　春季ゴルフコンペ」報告

開催日／平成16年4月3日　土曜日
場　所／東名古屋カントリークラブ
優勝者／大山能孝（大学23回）

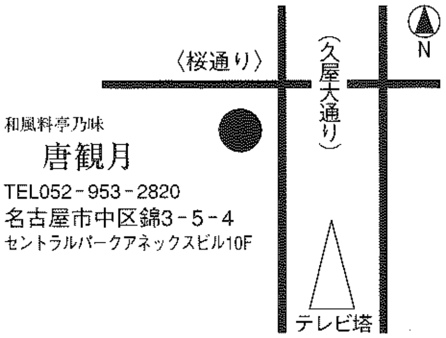
交遊サロン『陵水亭』

名古屋支部では、毎月一回、親睦の場を設けております。名前は『陵水亭』。

平成9年にスタートして、以来、脈々と続いております。

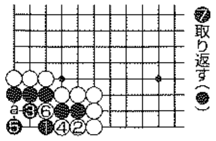
当初は年配者中心でしたが、最近は若い出席者がふえております。世代を超えて、職業を超えて、自由に気楽に集まって下さい。

きっと、すばらしい出会いが待っています。



〈会　　場〉　唐観月（錦 アネックスビル 10F）
〈会　　費〉　5,000円
〈開催日時〉　毎月第3金曜日（原則）
　　　　　　午後6時30分～
※会場入口で「陵水会」を名乗って下さい。

H16	7月16日（金）	8月20日（金）
	9月17日（金）	10月15日（金）
	11月19日（金）	12月……休み
H17	1月21日（金）	2月18日（金）
	3月18日（金）	4月15日（金）
	5月20日（金）	6月17日（金）



〈正解〉
この場合は、カケツギが好手。白6に黒7の取り返しで活きです。また、白2を3なら、黒はaで活きです。

【編集後記】

この度、新しく機関紙担当となり、陵水会名古屋支部のさらなる発展を目指して、楽しく読みやすい紙面づくりにチャレンジしていきたいと考えます。前任の榊原寛さんは、10年担当され機関紙の定着に努力されました。

楽しい機関紙とは、多数の皆さんから原稿が寄せられ、掲載されることです。新任担当の課題としては、

一、年二回の発行（新年号の発行を目ざす）
二、機関紙のカラー使用を検討する
三、右の事項実施のコストアップを
①会員各位の広告掲載のご協力
②機関紙の送付先は、会費納入者を対象（郵送料が最大コスト）などを検討していきます。

原稿募集
・「思い出の彦根」文・写真
・エッセイ・紀行文・自慢話・お互の励みになるテーマ
・とっておきの写真・説明付
などなど

新編集担当　吉田　稔（大15）
☎FAX052－751－2010